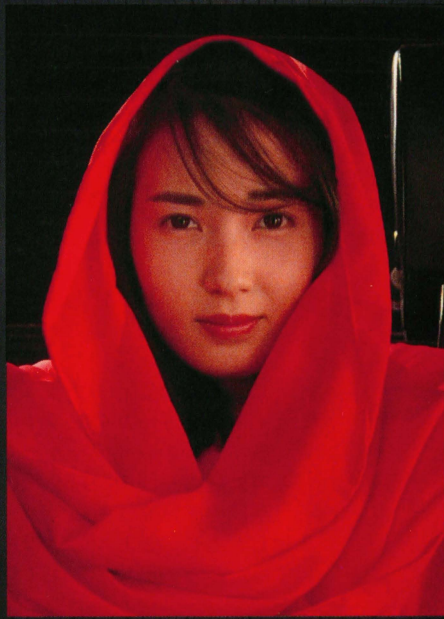


あなたが、お出迎えする夢はどんな夢？



あかめがね 紅い眼鏡

押井 守監督作品

●プロデューサー/斯波重治、林 大介 ●脚本/伊藤和典、押井 守 ●音楽/川井憲次 ●撮影/間宮庸介 ●照明/保坂芳美 ●プロテクトギア監修/安井尚志 ●制作主任/糖塚忠幸
●出演/千葉 繁/鷺尾真知子/田中秀幸/玄田哲章/及川ヒロオ/兼松 隆/古川登志夫/西村智博/永井一郎/大塚康生/坂田金太郎/兵藤まこ/天本英世

企画——紅い眼鏡・制作委員会
製作・配給 株式会社オムニバスプロモーション



あか めがね 紅い眼鏡

【ストーリー】

20世紀末、激動する都市犯罪とその凶悪化に対抗し、警視庁はその部内に特捜班を編成した。強化服と重火器で武装した彼らは〈地獄の番犬—ケルベロス〉と呼ばれ犯罪者たちを震えあがらせたが同時にその非情ともいえる捜査活動に世論の非難が集中し、ついにその組織の解体を余儀なくされた。しかし彼らの一部は武装解除を拒否し武力をもってこの決定に抵抗した。後にケルベロス騒乱と呼ばれたこの事件は当局の苛烈な弾圧と決起者の全員逮捕をもって終局を迎えるが、その中であってただひとり突入班員都々目紅一は強化服と共に国外逃亡を果たした。

それから三年——。

大きなトランクひとつを携えて、紅一が帰ってきた。

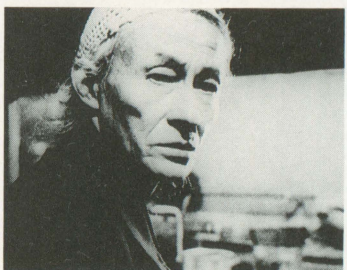
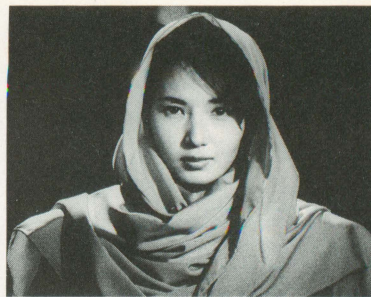
何の為に、何を求めて—、組織の再建か権力への復讐か？待ち構えていたかのように彼をつまわず不審な影、それをふりきったのもつかのま、安ホテルのシャワールームに今度は謎の一団の襲撃を受ける。乱闘の末、辛くも夜の街へ脱出したものの、しかし〈街〉はすっかりその装いを変えていた。空白の三年間に一体何があったのか？夜明けを期して無人の映画館に潜り込む紅一。しかしこの時から紅一の悪夢巡りが始まる——。

伝説の立ち喰い師〈月見の銀二〉や今は転向者として負け犬の日々を送るかつての僚友たちとの再会、そして裏切り。ケルベロスの残党狩りに異様な執念を燃やす公安刑事室戸文明の奇妙な尋問と凄惨な拷問、延々と繰り返される脱出劇のなかで敵と味方、正義と悪、虚構と現実の境界をさまよい現実感を追ってゆく紅一。そして衝撃的な事実が明らかになる。

(主人公の紅一を通じて、夢と現実の世界にギャグとウィットに富んだ会話を駆使し押井 守独得のアニメ世界が実写として、スクリーンに展開される……。)

モノクロ (パートカラー) ビスタサイズ / 1時間56分

●配給 / (株)オムニバスプロモーション



【作品解説】

この映画は、企画に賛同した各ジャンルの人たちが、自主参加という形で協力し、プロジェクト・チームを組み、映画製作では異例の超低予算・少人数スタッフ・変則スケジュールなど多くの困難を克服して完成したものである。

押井 守監督は、アニメーション作品においては、「風の谷のナウシカ」の宮崎駿監督に次ぐメジャーな存在である。とはいうものの、今までのアニメーションに対する映像業界一般の認識度といえば、メジャー・マイナー以前、悪く云えば問題外であった。しかし、彼等の作品群に

よって、ようやくアニメーションも映像表現の一つであるという市民権を与えられ、現在においては、映像表現の独自の道を歩み始めたと云ってもいいだろう。その旗手の一人である押井守監督のこの作品は、アニメーションの手法を実写に持ち込んだ最初の作品であり、また氏にとっては、記念すべき実写第一作目の作品である。

脚本は、TVアニメシリーズ・「うる星やつら」からの名コンビ、伊藤和典と押井 守の共同執筆、カメラは間宮庸介、照明は保坂芳美。

音楽は川井憲次が担当、スターチャイルドよりLPが発売されている。冒頭に登場するプロテクトギアのコスチュームは「機動戦士ガンダムZZ」等のメカデザインを担当した出瀬裕がデザイン、品田冬樹・速水仁司が造った。また劇中のマットアートはイラストレーターの開田裕治によるもので、各ジャンルの著名人が惜しめない協力をしている。



'87年2月7日(土)よりキネカ大森 開館三周年特別独占ロードショー!

特別鑑賞券発売中—1,200円

(当日一般1,500円・学生1,300円の処) ●都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系各劇場他でお求めください。

●グループ鑑賞のお申し込みは㈱メイジャーまで。 ☎ 03(541)2508

連日 11:15 1:40 4:10 6:40 9:00

●自由席定員制・入替制 (土曜及び祝日前夜)

★4週連続舞台あいさつ

'87年2月7日、14日、21日、28日の毎週土曜日、午前10時45分—11時15分に「紅い眼鏡」のスタッフ、キャストによる舞台あいさつを行ないます。(ゲストのスケジュールは未定です)

【舞台あいさつ予定者】

押井 守(監督)、伊藤和典(脚本)、千葉 繁、鈴木真知子、田中秀幸、兵藤まこ他(以上、出演者) 出瀬 裕(デザイン)、開田裕治

KINECA
キネカ大森

国電大森駅東口・西友5階

☎ 03(762)6000